

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校器楽教育の充実					所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]	年度
		[小 柱]							[終了予定]	- 年度
		[施 策]								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	区立中学校生徒								
	事業目的	区立中学校の生徒の演奏技能向上をめざす。								
	事業内容	区立中学校に音楽教諭の補助として楽器の専門家を派遣し、生徒を指導することにより、演奏技能の向上をめざす。年間指導時間数は各中学校30時間。								
委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	器楽指導専門員派遣時間数		(時間)	210	190	206	190		
		対象生徒数		(人)	2,500	2,337	2,316	2,295		
	決算額 (単位：千円)					1,140	1,236	990		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				765	722	357		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				0	0	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				1,140	1,236	990		
		総経費				1,905	1,958	1,347		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源 (区負担額)				1,905	1,958	1,347				
前回評価から改善した事項	学校の希望する派遣時間数を調査し、必要な時間数に沿って器楽指導員を派遣した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	音楽教育の質向上を保つために必要不可欠な事業であり、楽器の専門に特化した指導員の派遣は学校現場からの要請が依然強いため、必要である。							
	効率性	3	各学校から学期末に必要実施時間数のアンケートをとり、また、実績に応じた派遣時間数や派遣指導員を決定しており、効率的に事業を実施している。							
	手段の適切性	3	各学校のニーズに合わせた専門指導員を派遣するよう努めており、手段は適切である。							
	目的達成度	3	各学校の要望に応じた派遣時間に対応できており、区立中学校での音楽教育の水準が高く保たれている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	維持		
台東区内全中学校は中学校吹奏楽コンクールに毎年参加しており、演奏技能の向上のために欠かせない事業である。今後も継続して指導員を派遣し、音楽教育の質を維持していく必要がある。							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			